



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年7月27日

上場会社名 株式会社ヤマナカ 上場取引所 名
 コード番号 8190 URL <http://www.super-yamanaka.co.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)中野 義久
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員財務部長 (氏名)清水 泰晴 (TEL)052-937-9310
 四半期報告書提出予定日 2020年7月28日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年3月21日～2020年6月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	25,669	8.2	915	291.9	943	238.1	536	175.2
2020年3月期第1四半期	23,727	△1.8	233	80.5	278	114.6	194	207.1

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 780百万円(—%) 2020年3月期第1四半期 △22百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	27.99	—
2020年3月期第1四半期	10.17	—

(注) 営業収益は、連結損益計算書の「売上高」と「営業収入」を合計して記載しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	39,800	15,765	39.6
2020年3月期	36,462	15,081	41.4

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 15,765百万円 2020年3月期 15,081百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	5.00	—	5.00	10.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年3月21日～2021年3月20日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
第2四半期(累計)	—	—	—	—	—	—	—	—
通期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、現時点において業績予想を合理的に算定することが困難なため、2020年4月27日に公表しました業績予想を一旦取り下げ、未定としています。今後、開示が可能となった時点で速やかに公表してまいります。詳細は、本日(2020年7月27日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期1Q	20,425,218株	2020年3月期	20,425,218株
2021年3月期1Q	1,270,541株	2020年3月期	1,270,491株
2021年3月期1Q	19,154,679株	2020年3月期1Q	19,154,807株

- ② 期末自己株式数

- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

- (注) 期末自己株式数には、「株式給付信託(BBT)」に係る信託財産として、「資産管理サービス信託銀行㈱(信託E口)」が保有する当社株式(2021年3月期1Q108,300株、2020年3月期108,300株)が含まれております。また、期中平均株式数の算定上控除する自己株式には、「資産管理サービス信託銀行㈱(信託E口)」が保有する当社株式(2021年3月期1Q108,300株、2020年3月期1Q108,300株)が含まれております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大により経済活動が停滞し、企業収益の悪化や雇用情勢の悪化による消費マインドの低下など、景気は厳しい状況が続いております。

食品小売業界におきましては、不要不急の外出自粛要請や学校休校、テレワークの推進などによる内食需要の高まりが売上を押し上げる要因となった一方で、新型コロナウイルス感染症のリスクは依然として大きく、先行きは不透明な経営環境が続いております。

こうした状況の中、当社グループは、地域の皆様の食生活を支える生活インフラとしての役割を果たすべくお客様と従業員の安全と安心を最優先に「衛生管理基本方針」を制定し、衛生管理の徹底や店内におけるソーシャルディスタンスの確保、営業時間の見直しや販促方法の変更など感染症予防対策を実施してまいりました。

また、当社グループは、2022年の創業100周年を見据え、次の成長戦略に向けた基盤作りをすべく新たな企業理念を以下のように制定し、すべての役員と従業員が「顧客価値を創造する」ことを使命として事業活動を行っております。

①ヤマナカグループは、地域のお客様はじめすべての人たちの「健康」で「豊か」で「笑顔」あふれる「幸せ」な日常生活に貢献できることを目指します。そして、そのことがわれわれの「喜び」でもあり「幸せ」でもあると感じることができる企業グループを目指します。

②すべての従業員がヤマナカグループの一員であることに誇りを持って、「ヤマナカグループの主役」として自発的に生き活きと楽しく働き、やりがいと日々の成長を感じることができる企業グループを目指します。

③ヤマナカグループは、常に世の中に新しい価値を生み出すことにチャレンジし、次の100年も地域になくはない身近な存在であり続けます。そして、地域の皆様から信頼され、地域とともに発展する企業グループとして、また、さまざまな取り組みを通じて地球環境にもやさしい企業グループを目指します。

商品政策では、“ヤマナカ・フランテならでは”の商品展開を推進し、独自性の高いバイヤーいち押し商品の拡充やフランテ独自のこだわり商品の品揃えの充実に取り組みしました。

販売政策では、毎週日曜日にお買い物をされたグラッチェカード会員様へ翌週の月曜日から土曜日にご利用いただける「5%割引得々クーポン券」を新たに導入するなど、販促方法の見直しを図りました。

店舗政策では、お客様のレジ待ち時間の短縮による利便性の向上やレジ業務の効率化を目的に2020年6月にアスティ店(名古屋市千種区)へセルフ精算レジを導入しました。

連結子会社のプレミアムサポート株式会社が運営するスポーツクラブ事業では、緊急事態宣言発出期間において全館を臨時休業する一方、「ASTYオンラインレッスン」を開始し、運動不足解消のための様々なプログラムを提供してまいりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間における経営成績は、売上高に営業収入を加えた営業収益は、上述の新型コロナウイルス感染症拡大の影響による巣ごもり消費や内食需要の高まりから既存店売上高が前年同期比107.8%と伸長したことから256億69百万円(前年同期比8.2%増)となりました。利益面では、同感染症対策に関連する備品の購入や従業員への特別感謝手当の支給など経費の増加を営業総利益の増加がカバーし、営業利益は9億15百万円(前年同期比291.9%増)、経常利益は9億43百万円(前年同期比238.1%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は5億36百万円(前年同期比175.2%増)となりました。

なお、セグメント別の実績については、当社グループは「小売事業及び小売周辺事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ33億37百万円増加し、398億円となりました。これは主に現金及び預金が34億18百万円増加したことによるものです。

負債は前連結会計年度末に比べ26億53百万円増加し、240億35百万円となりました。これは主に有利子負債が11億33百万円、未払費用が4億73百万円、買掛金が3億75百万円増加したことによるものです。

純資産は前連結会計年度末に比べ6億83百万円増加し、157億65百万円となりました。これは主に利益剰余金が4億39百万円、その他有価証券評価差額金が2億35百万円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年4月27日に公表した2021年3月期の連結・個別の業績予想につきましては、緊急事態宣言による外出自粛要請等の影響で、スーパーマーケット事業においては内食需要の拡大が一時的に見込まれる一方、連結子会社のプレミアムサポート株式会社が運営するスポーツクラブ事業においては、臨時休業や営業自粛による会費収入の減少等を見込んでおりました。

しかしながら、2021年3月期第1四半期の決算においては、スーパーマーケット事業における内食需要の拡大が想定よりも大きかったことなどから利益面で通期の業績予想を上回る結果となった一方で、新型コロナウイルス感染症の更なる拡大の兆候も出始めており、新型コロナウイルスの収束時期や今後の消費動向、当社グループで感染者が発生した場合のリスク、連結におけるスポーツクラブの更なる休業要請の可能性など、先行き不透明な状況は続いており、今後の業績を合理的に算定することは困難であることから2020年4月27日に公表した連結・個別の業績予想を一旦取り下げ、未定とさせていただきます。

詳細は、本日(2020年7月27日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

なお、業績予想につきましては、開示が可能となった時点で速やかに公表してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月20日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,529	6,948
売掛金	1,228	1,261
商品及び製品	2,550	2,537
仕掛品	0	0
原材料及び貯蔵品	48	74
その他	1,511	1,244
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	8,868	12,065
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,289	8,221
土地	9,584	9,584
その他（純額）	1,363	1,290
有形固定資産合計	19,237	19,096
無形固定資産		
借地権	331	327
ソフトウェア	301	293
その他	29	29
無形固定資産合計	661	650
投資その他の資産		
投資有価証券	2,422	2,766
差入保証金	4,849	4,823
繰延税金資産	67	36
その他	361	355
貸倒引当金	△50	△50
投資その他の資産合計	7,650	7,931
固定資産合計	27,549	27,677
繰延資産	44	57
資産合計	36,462	39,800

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月20日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月20日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,274	5,649
短期借入金	277	278
1年内償還予定の社債	1,240	1,290
1年内返済予定の長期借入金	1,374	1,801
未払費用	1,136	1,609
未払法人税等	155	434
賞与引当金	288	81
ポイント引当金	133	133
資産除去債務	10	10
その他	1,923	2,374
流動負債合計	11,813	13,664
固定負債		
社債	3,090	3,400
長期借入金	3,429	3,795
リース債務	287	268
繰延税金負債	-	56
役員株式給付引当金	45	45
退職給付に係る負債	442	394
長期預り保証金	828	827
資産除去債務	1,343	1,347
その他	101	233
固定負債合計	9,567	10,370
負債合計	21,381	24,035
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,220	4,220
資本剰余金	6,538	6,538
利益剰余金	5,858	6,298
自己株式	△1,962	△1,962
株主資本合計	14,655	15,094
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	633	869
退職給付に係る調整累計額	△207	△198
その他の包括利益累計額合計	426	670
純資産合計	15,081	15,765
負債純資産合計	36,462	39,800

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年3月21日 至 2019年6月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年3月21日 至 2020年6月20日)
売上高	22,481	24,518
売上原価	16,797	17,981
売上総利益	5,684	6,537
営業収入	1,246	1,151
営業総利益	6,930	7,688
販売費及び一般管理費	6,696	6,772
営業利益	233	915
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	7	6
持分法による投資利益	5	4
情報提供料収入	12	12
その他	54	23
営業外収益合計	79	47
営業外費用		
支払利息	11	10
社債発行費償却	5	4
その他	16	4
営業外費用合計	33	20
経常利益	278	943
特別損失		
固定資産除却損	0	5
臨時休業等による損失	-	50
特別損失合計	0	55
税金等調整前四半期純利益	278	887
法人税、住民税及び事業税	111	371
法人税等調整額	△27	△20
法人税等合計	83	351
四半期純利益	194	536
親会社株主に帰属する四半期純利益	194	536

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年3月21日 至 2019年6月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年3月21日 至 2020年6月20日)
四半期純利益	194	536
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△227	235
退職給付に係る調整額	9	8
その他の包括利益合計	△217	244
四半期包括利益	△22	780
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△22	780
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自 2019年3月21日 至 2019年6月20日)及び当第1四半期連結累計期間

(自 2020年3月21日 至 2020年6月20日)

当社グループは、「小売事業及び小売周辺事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。